

# 2023 年 度 事 業 報 告 書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 その人を中心とした認知症ケアを考える会

## 1 事業の成果

- 1) 研修事業では、A-QQAに関する特別講演をはじめ、年間計5回、当会主催の研修会を開催した。新型コロナウイルス感染拡大以来、Zoom（オンライン会議システム）によるオンラインにて事業を実施してきたが、2023年度は、公開講座、および実践者のためのパーソン・センタード・ケア学習会Ⅱを対面開催で企画した。公開講座は都内公共施設を借りて、多くの市民に参加頂き実施できたが、学習会Ⅱは、応募が最小開催人数に達しなかったため、取り止め、時期を変えて年度末にオンライン開催にて実施し、多数の参加を得た。
  - ・福島県、新潟県、香川県、千葉県、豊島区、東大和市他より依頼を受け、講師を派遣し、多くの参加があった。
  - ・公開講座は、上記の通り対面開催とし、東京都多摩若年性認知症総合支援センター長および若年性認知症の当事者の方にご講演頂き、好評を得た。
  - ・Café VIPSも、隔月第3水曜夜に継続し、事例や実践報告などを話題として提供し合いながら、それぞれの立場でVIPSの視点を生かしながら振り返り、意見交換する場として定着してきている。
- 2) 健康事業では、引き続き、国立市の居場所づくり事業ひらや照らすにおけるメモリーカフェを月1回開催した。地域包括支援センターの協力を得て、11月から“おれんじメモリーカフェ”と改称し、認知症の当事者、家族の方にも参加して頂き、相互交流している。近隣の専門学校の学生や教員の参加や学園祭への訪問等も継続しており、地域での多世代交流の機会となっている。
- 3) DCM支援事業は、JPDネットワーク沖縄九州ブロックや新潟マッパーの会の勉強会に参加協力させて頂いた他、DCM推進施設でのDCMを活用した事例検討にも協力した。
- 4) 調査研究事業は、視聴覚教材の頒布のほか、活動できていないが、DCMやVIPSに関する検討を次年度につなげていきたいと考える。
- 5) 交流事業では、ニュースレター発行（年2回）、ホームページに年間約10回、活動案内や活動報告、関連情報等を投稿、発信した他、認知症の人と家族の会のつどいやオレンジカフェへの参加を通して交流を図った。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円) (千円)
1) 認知症ケアに関わる様々な専門職による、その人を中心とした認知症ケアに関する研究会・学習会事業	1. 特別講演会：小川真寛氏 2. 公開講座：若年性認知症当事者・来島みのり氏 3. 講演会：大野教子氏 4. 実践者のための学習会ⅠⅡ 5. 講師派遣：13件 6. Café VIPS:6回	5月 7月 6、7、8、9、10、11、12、2、3月 4、6、8、10、12、2月、	Zooによるオンライン開催 府中市（対面） 福島県、香川県、豊島区、妙高市、鴻巣市、胎内市、葛飾区、千葉県、江東区、東大和市、大田区 オンライン	のべ60名	東京都ほか各地の認知症ケアに関わる専門職、支援者、家族ら約500名	574
2) 健康増進事業	1. くになちひらや照らす～メモリーカフェ開催7回 おれんじメモリーカフェ5回	4月～10月 11月～3月	国立市	のべ30名	地域住民、高齢者のべ約140名	16
3) 認知症ケアマッピング支援事業	1. JPD ネットワーク沖縄九州ブロック DCM 勉強会3回 2. 新潟マッパーの会 3. 特養吹上苑 DCM 支援	9、11、1月	オンライン 対面	のべ3名	認知症ケア専門職約50名	60
4) 認知症ケアの質を向上させるための調査・研究事業	1. 視聴覚教材有償頒布	11月～3月	国立市、オンライン会議	のべ5名	認知症ケアに関わる専門職・一般市民	10
5) 情報提供および交流事業	1. ホームページにて情報提供。 2. ニュースレター発行	随時 4月、10月	国立市ほか	のべ20名	ケア専門職ほか一般市民、会員のべ250名	6